

庄内地区地域づくりセンターだより

令和2年度 NO.2



令和3年1月1日発行 庄内地区地域づくりセンター

☎ 390-0827 松本市出川1-5-9 庄内地区公民館内(ゆめひろば庄内1階)

☎ 24-1811 Fax 24-1812 E-mail: shounai-s@city.matsumoto.lg.jp

新年あけましておめでとうございます。今年は良い年となりますように…悪疫退散！

庄内地区地域づくりセンター・庄内地区公民館 職員一同



多事争論会 開催

12月14日(月)、庄内地区公民館を会場に「多事争論会」が開催されました。最初に「地域包括ケアの構築」をテーマに、臥雲市長から総括的な話が、庄内地区地域づくりセンター長から状況報告と課題について報告がありました。

その後、会場及びオンライン参加の方々との自由討論が行われました。

会場からは、「高齢者だけではなく子どもから高齢者までを考えた地域包括ケアが必要」「民生委員だけでは支えきれない町会の現状があるので民生委員を補う職種の配置を要望したい」「医療・介護の連携のイニシアチブを行政にとってほしい」「町会未加入者の情報把握への行政の協力を」「フレイル予防の充実を図ってほしい」「災害時の避難所の課題」「松本市としてもっと情報発信が必要」「子どもや若い人の力を活かすまちづくりを！」「松本はとてもいいところ、ここで生きることはとても幸せなこととPRして若い人に多く暮らしてほしい」など多くの意見・要望が出されました。

そのすべてに対し、市長・副市長・担当課長から回答が行われました。

市長と直接語り合うよい機会になったのではないのでしょうか？

なお、当日の様子は、YouTube 松本市公式チャンネルにて公開中です。



地域ケア会議

12月10日(木)、地域ケア会議を開催しました。

今回の地域ケア会議は、9月に実施した「高齢者入所施設の避難を考える情報交換会」(中央南地域包括支援センターと庄内地区地域づくりセンターの共催事業)において、筑摩小学校北にある「結 つかま」(サポート付高齢者住宅)の方から、「近隣の町会の方々と災害時に協力しあえる関係づくりをしていきたい」との提案がありました。

そこで、今回地域ケア会議として位置づけ、「結 つかま」の職員の方と近隣の3町会(筑摩・中林・逢初町)の町会長、防災部長、民生委員の皆さまに参加いただき、情報交換・意見交換を行いました。

- ・被災した際に近隣の方が避難すると物資不足するのではないか
- ・被災時の物資供給や情報連絡はどのようになるのか不安
- ・今までの取り組みは地震中心であったが、水害を想定した避難計画の練り直し必要
- ・施設と周辺住民が協力しあえるよう、日頃からの交流や話を詰めておくことが必要

など多くの意見が出され、今後災害時の協力に向け、施設と町会との間で話をしていくことが確認されました。庄内地区には多くの介護施設が存在します。今後も施設と近隣町会においてこのような話し合いが行われ、いざという時に備えていけるようお手伝いしていければと思います。